

HTB詐欺撲滅キャンペーン 「今そこにある詐欺」 平成26年日本民間放送連盟賞特別表彰部門 『放送と公共性』で優秀賞を受賞

HTBが振り込め詐欺等の被害を1件でも食い止めるため、2013年5月27日から夕方の情報番組「イチオシ！」のニュース企画で開始した詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」が、平成26年日本民間放送連盟賞特別表彰部門『放送と公共性』で優秀賞を受賞しました。

日本民間放送連盟賞とは、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟（民放連）が1953（昭和28）年に創設した賞です。放送の公共性を強く意識しながら民放各社で取り組んでいる企画や開発の事績に対して賞が贈られる特別表彰部門「放送と公共性」で、当企画が高く評価されました。

【受賞企画】 HTB詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」

【放送日時】 2013年5月27日～現在に至る
午後6時15分～7時00分「イチオシ！」内（北海道ローカル）

【企画意図】 1回目の放送は当時札幌で被害が多発していた「還付金詐欺」。医療費の払い戻しがあるという電話に注意喚起するため、兵庫県警で公開されていた実際の犯人の声を紹介し、年金支給日が狙われやすい点や犯人が被害者をATMに連れ出そうとする手口を紹介した。企画のコンセプトとして高齢者にわかりやすいニュースを心がけ、VTRでは、被害に至るまでの細かい電話口でのやりとりや犯人グループが使った名称、役柄（区役所、社会保険事務局、警察官など）を紹介。スタジオではプロジェクターを使って、大きい文字で内容を振り返り、詐欺を防止するためのポイントをわかりやすく解説して、情報提供を呼びかけてきた。

【「イチオシ！」ニュース編集長 坂本英樹(HTB)のコメント】

詐欺撲滅キャンペーンを開始してから、毎日欠かさず情報を伝え続けて放送回数はずでに300回を超えました。被害者の多くが高齢者であることから、細かい詐欺の手口や被害防止のポイント解説を重視し、最新かつ独自の情報を伝えています。理不尽な犯罪を撲滅するという意識を報道部で共有するため、特別チームを編成せずに、記者が日々交代で取材にあたっています。

“毎日詐欺情報を扱うこと”を自ら課していることが番組作りのエネルギーになっています。常に新しい情報をわかりやすく伝え、地域の視聴者を犯罪から守ろうとする姿勢が評価されたと思います。